

令和7年度

事業報告書

(自) 令和7年4月1日

(至) 令和8年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

# 目 次

令和7年度事業概要	1 ページ
I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	23 ページ
1 平松老人福祉センター事業	
2 巨勢老人福祉センター事業	
3 開成老人福祉センター事業	
4 大和老人福祉センター事業	
5 金立いこいの家事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	25 ページ
1 通所介護事業	
IV. 認可外保育施設運営拠点区分	25 ページ
1 松梅保育所運営事業	
V. その他の事業	26 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

## 令和7年度事業概要

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の更なる実現に向け取り組んできました。

今年度は、第4期地域福祉活動計画（令和3年度～令和7年度）の最終年度にあたり、重点的な取り組みとして、重層的支援体制整備事業の推進を図り、生活困窮や複合的な課題を抱える世帯への個別の支援についても、アウトリーチ等を通じた継続支援事業や参加支援事業につながるよう支援を行ってまいりました。また、令和6年度に受託した第2層生活支援コーディネーター事業の充実を図り、地域づくりに努めました。

特に、校区（地区）社会福祉協議会が未設置となっていた春日北校区で設置され、すべての校区（地区）社会福祉協議会が設立となりました。今後はより一層、校区・地区毎にきめ細かな地域福祉活動が推進でき、「福祉のまちづくり」のパートナーとして、それぞれの重点目標が達成できるよう、引き続き地区担当を中心に支援・協働を行ってまいります。

子育て支援については、南北の子育て支援センターを中心にふれあい広場を開設し、親子での楽しいひとときを提供することができました。南部においては、子育て支援の空白地に出張広場を移転させ、更に充実を図りました。

権利擁護支援の充実を図るために設置された成年後見センター（成年後見制度利用促進法における中核機関）では、広報・啓発活動の充実を図り、様々な対象者の相談及び支援に取り組んできました。また、地域連携ネットワーク構築を促進させる為に関係機関、団体と連携・協力を深めてまいりました。

令和5年から返済が始まったコロナ特例貸付の借受人支援については、今もなお生活状況が厳しく償還が難しい世帯に対し、関係機関と連携を図りながら、アウトリーチによる積極的な支援を実施するなど、生活安定のためのフォローアップ支援を行いました。

法人運営においては、昨今の急激な物価高騰や人件費の上昇といった厳しい外部環境のなかにあって、福祉サービスの質を維持しつつ、持続可能な経営体制を構築することに注力するとともに、社会福祉法人として高い公共性と倫理観が求められるなか、法令遵守および内部統制の強化を組織運営の根幹に据えました。

次年度以降の取り組みについては、第5期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和8年度～令和12年度）を策定しており、市民・地域団体・事業者・関係支援機関・行政等、地域に関わる団体が互いに連携・協働し、すべての人が安心して暮らせるまちの実現を目指します。

## I. 社会福祉事業拠点区分（411,239,787円）

### 1 法人運営事業（125,760,867円）

#### （1）役員会開催状況

- ① 第1回理事会 令和7年6月4日（出席9名/13名中）※監事2名
  - 第1号議案 令和6年度事業報告並びに資金収支決算について
  - 第2号議案 役員（理事・監事）の選任候補者の推薦について
  - 第3号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
  - 第4号議案 評議員の選任候補者の推薦について
  - 第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集について
  - 第6号議案 評議員選任・解任委員の選任について
  - 第7号議案 令和7年度 定時評議員会の招集について
  - 第8号議案 苦情解決第三者委員の選任について
  - 第1号報告 令和6年度佐賀県共同募金会佐賀市支会会計収支決算について
  - 第2号報告 令和6年度日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区会計収支決算について
  - 第3号報告 会長・常務理事の職務の執行状況について
- ② 第2回理事会 令和7年6月27日（出席11名/13名中）※監事2名
  - 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について
  - 第2号議案 専決規程 別表第2 会長が指名する副会長の順序について
- ③ 第3回理事会 令和7年12月24日（出席12名/13名中）※監事2名
  - 第1号議案 開成デイサービスセンター事業の廃止について
  - 第2号議案 令和7年度第1回資金収支補正予算について
  - 第1号報告 法人後見事業における損失について
  - 第2号報告 職員給与規程の一部改正について
  - 第3号報告 会長・常務理事の職務の執行状況について
- ④ 第4回理事会 令和8年3月27日（出席9名/13名中）※監事1名
  - 第1号議案 令和7年度第2回資金収支補正予算について
  - 第2号議案 令和8年度事業計画並びに資金収支予算について
  - 第3号議案 役員等賠償責任保険契約について
  - 第4号議案 職員就業規則の一部改正について
  - 第5号議案 育児・介護休暇等に関する規程の一部改正について
  - 第1号報告 令和8年度佐賀県共同募金会佐賀市支会会計収支予算について
  - 第2号報告 令和8年度日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区会計収支予算について

#### （2）評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 令和7年6月27日（出席15名/23名中）
  - 第1号議案 令和6年度 事業報告並びに資金収支決算について
  - 第2号議案 役員（理事・監事）の選任について
  - 第1号報告 令和6年度 佐賀県共同募金会佐賀市支会会計収支決算について
  - 第2号報告 令和6年度 日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区会計収支決算について

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 令和7年6月16日（出席5名/5名中）  
第1号議案 評議員の補充選任について  
第2号議案 評議員の選任について

(4) 監査状況

- ① 令和6年度事業・会計監査 令和7年5月21日

(5) 苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

2 地域福祉活動事業（182,858,104円）

(1) 企画・広報事業（3,256,696円）

① 社会福祉大会の開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、社会福祉に功勞のあった者を表彰し、社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

- ・期日：令和8年2月18日
- ・場所：佐賀市文化会館 中ホール
- ・参加者：445名
- ・受賞者：福祉団体役職員2名、民生委員児童委員50名、ボランティア団体1団体、福祉協力員7名
- ・感謝状福祉事業資金等協力者：4団体、個人1名
- ・講演：『心豊かに生きる』
- ・講師：南蔵院第二十三世住職 林 覺乘氏

② 社協だより“愛・あい”の発行

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年3回（春夏・秋・新春号）、市内全世帯及び事業所に配布した。

③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、作成・公開した。

(2) 地域福祉活動計画推進策定事業（1,164,329円）

策定推進委員会（3回）を開催し、第4期地域福祉活動計画（令和3年～令和7年）の活動報告と第5期地域福祉活動計画（令和8年～令和12年）を策定した。策定過程においては委員会だけでなく、地域で活動しているNPO法人やボランティア団体からヒアリングを行い、直接意見を聴く機会を作り、計画に反映されるようにした。

(3) ボランティアセンター事業（4,703,625円）

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するため、佐賀市ボランティア連絡協議会主催の加入団体への研修としてボランティアのつどいを開催した。

内容：講話「災害から身を守るために」佐賀市危機管理防災課  
災害時に手軽にできる非常食  
防災マイ・タイムラインを書いてみよう 参加者数：36名

加えて、佐賀市ボランティア連絡協議会（登録7団体）の充実を図るため、年5回（4月・6月・8月・10月・3月）の役員会を実施し、それぞれの団体に所属しているボランティア団体等に対して情報共有を図った。

① ボランティアセンター運営事業

- ・ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるため、インテークシートの作成・活用したボランティア活動のニーズの把握、調整に努めた。

- ・各ボランティア連絡（推進）協議会及びボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・定例会等への協力・連携を図った。ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティア団体リーダーの育成を目的として、研修交流会の開催を支援した。

- ・ボランティア活動保険の活用促進

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

加入受付：222 団体、3,310 名 事故申請：8 件

- ・福祉教育の推進

社協職員による講話 6回

（モデル校6校：金泉中、川上小、久保泉小、循誘小、小中一貫校思斉館小学部、西与賀小）  
「ふくしって何だろう」をテーマに、小学3・4年生、中学生を対象に講話を行った。

外部講師の実績

- ・視覚障がいと歩こう会「視覚障害を知ろう・視覚障害体験・当事者講話」 1回
- ・手話サークルむつごろう「聴覚障害を知ろう・手話体験・当事者講話」 1回
- ・大和手話の会 「聴覚障害を知ろう・手話体験」1回
- ・佐賀大学医学部 SCS サークル 「性教育：大人になるってどういうこと」1回
- ・SPF 「防災についての講話、ハザードマップ体験、土のう作り体験」1回

- ・佐賀県パラスポーツ協会「ボッチャ体験」 2回

② ボランティア団体等助成事業

- ・ボランティア活動（団体、連絡協議会等）の助成

佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

ボランティア団体：31 団体（620,000 円）

ボランティア連絡[推進]協議会：7 団体（340,000 円）

③ 災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう関係機関との連携を図った。

- ・内閣府が進める三者連携体（行政・NPO・ボランティア）の構築に向け、佐賀市協働推進課、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）との会議を開催した。

- ・佐賀県社会福祉協議会等外部団体が主催する災害ボランティア研修会等へ参加した。

(4) 高齢者ふれあいサロン事業（21,953,513 円）※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、互いに交流を深めた。

また、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう生きがいつくりや健康づくりを推進するため運営費を助成し、併せて設立や運営の支援等を行った。

令和7年度は、協力者の高齢化がさらに進み、廃止するサロンが増加する一方で、新たにサロンを開設される地区も増えており、サロン活動が今後も継続できるよう支援を続けていく。

◆令和7年度 新規9ヶ所、廃止10ヶ所（令和6年度 新規5ヶ所、廃止8ヶ所）

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額
勸興	2	21	455	150,000
循誘	12	163	2,369	880,000
日新	6	66	1,304	450,000
赤松	3	46	679	230,000
神野	12	125	2,366	910,000
西与賀	11	180	2,602	829,980
嘉瀬	4	59	644	280,000
巨勢	6	75	1,214	448,009
兵庫	11	125	1,608	757,996
高木瀬	8	135	3,720	700,000
北川副	11	188	2,685	840,000
本庄	9	136	1,854	660,000
鍋島	4	155	1,771	300,000
金立	7	180	2,120	530,000
久保泉	2	21	436	160,000
蓮池	3	33	411	210,000
新栄	5	300	3,848	370,000
若楠	5	68	934	300,000
開成	6	189	3,296	480,000
諸富	15	216	4,209	1,155,000
春日	3	82	936	226,999
春日北	3	34	497	210,000
川上	8	337	3,594	640,000
松梅	2	21	361	150,000
富士	4	53	884	300,000
三瀬	6	64	767	420,000
南川副	8	94	1,054	550,000
西川副	7	119	1,438	473,495
中川副	5	72	840	350,000
大詫間	2	23	617	170,000
東与賀	5	68	1,054	360,000
久保田	9	164	2,078	680,000
合計	204	3,612	52,645	15,171,479
令和6年度実績	205	3,544	52,571	15,273,761

(5) 地域子育て支援センター事業 (24,704,000円)

北部の拠点として大和地区、出張ひろばとして富士地区に、南部の拠点として東与賀地区、出張ひろばとして4月から7月まで諸富地区、8月から3月まで川副地区に広場を設け、子育て中の親子が気軽

に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちの支援を行った。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

・交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)	実利用者数	
					乳幼児	保護者
大和ふれあい広場（拠点）	242	2,356	2,152	90	250	243
富士ふれあい広場（出張広場）	100	464	312	94	106	76
東与賀ふれあい広場（拠点）	242	2,233	1,805	45	241	211
諸富・川副ふれあい広場（出張広場）	44	284	185	10	94	69

・交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

サロン開催場所	実施回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
大和ふれあい広場（拠点）	33	176	182	25
富士ふれあい広場（出張広場）	13	51	49	21
東与賀ふれあい広場（拠点）	14	117	103	7
諸富ふれあい広場（出張広場）	2	4	4	9

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

(単位：件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	グループ 相談	
大和	109	47	9	2	22	134	1	54	189
富士	5	1	0	0	0	6	0	0	6
東与賀	64	29	2	20	10	98	0	27	125
諸富・川副	9	4	1	1	0	15	0	0	15

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙スマイルファミリー（発行月 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）を発行し、各校区公民館、児童センター、行政、市立図書館、近隣の保育園・こども園等に情報提供を行った。併せて市報等にも各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。また、初産婦を対象とするサロンの案内を母子手帳発行時や近隣の産婦人科にて情報提供を行った。

・母子保健推進員に広場の広報・周知を行い、赤ちゃん訪問時に広場の情報提供を依頼した。

・ふれあい広場の専用インスタグラムを作成し、ほぼ毎日広場やサロンの様子・情報などを発信し、情報提供に努めた。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

子育て中の保護者を対象に、子どもの足を守るための足育講座、歯科講座、児童虐待防止講座、乳幼児救急法、保活（保育園入園手続き等）講座、子育て世代の防災講座を実施した。

【大和】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和7年5月28日	児童虐待防止講座	13組	11	12
令和7年6月26日	歯科講座～歯並びと離乳食～	8組	6	6
令和7年8月21日	保活講座	8組	10	10
令和7年10月29日	子どもの足を守るための足育講座	13組	12	13
令和8年3月24日	乳幼児救急法講座	8組	7	8

【東与賀】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和7年5月15日	保活講座～入園について学ぼう～	12組	11	15
令和7年5月28日	児童虐待防止講座	12組	4	3
令和7年9月9日	救急法を学ぼう講座	12組	13	12
令和8年2月17日	子育て世代の防災講座	12組	12	11

⑤ サークル支援の実施、地域との交流促進（北部：44回）（南部：24回）

地域にある施設等に出向き地域の子育てサークルの活動支援やサークルの活動の場として広場を提供し、地域と密着した交流を図った。また、地域の学生や住民と交流を広場や乳児院（みどり園）などで行った。

⑥ 地域支援として本事業を利用したくてもできない地域に出向き、出張サロンをおこなった。

開催場所（内容）	実施回数	乳幼児数 （延人数）	保護者数 （延人数）
三瀬（親子ふれあい遊び）	3	16	14
松梅（親子ふれあい遊び）	3	10	9
久保田（親子ふれあい遊びと製作）	2	18	19
大詫間（親子ふれあい遊びと製作）	1	14	11
南川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	9	8
西川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	5	4

（6）多機関協働事業（重層的支援体制整備事業）（19,659,187円）※佐賀市委託

福祉まるごと相談窓口（佐賀市役所1階14番窓口）に専任の相談支援包括化推進員を2名配置し、高齢・障がい・子ども・生活困窮など各分野の相談支援機関だけでは、対応が困難な複雑化・複合化した課題を抱える世帯（人）の相談に応じ、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを活用し支援につなげた。

◆相談件数

	延べ相談件数	新規相談
R7年度	1,474件	745人
R6年度	1,417件	591人

◆相談者（新規相談745件中）

（単位：件）

本人、配偶者、親、子、親族	535
地域（民生委員・児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	31
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付・成年後見中核機関）、市生活自立支援センター、佐賀市家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、	55

県がん総合支援センター、就労支援事業所、地域若者サポートステーション、ハローワーク、医療機関、警察、不動産会社など	
佐賀市役所内 (建設部、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部、教育委員会、総合窓口など)	124

◆調整先機関（他の相談支援機関につないだ 530 件中） (単位：件)

本人、配偶者、親、子、親族	132
地域（民生委員・児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	4
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付・成年後見中核機関）、市生活自立支援センター、佐賀市家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、県精神保健福祉センター、スクールソーシャルワーカー、地域若者サポートステーション、県ひきこもり支援センター、ギャンブル等依存症リハビリ施設、ハローワーク、医療機関、中部保健福祉事務所、法テラス、警察、保護観察所、居住支援法人、公営住宅管理団体、不動産会社など）	107
佐賀市役所内（政策推進部、農林水産部、都市戦略部、環境部、上下水道局、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部など）	287

◆会議

重層的支援会議	10回 (実6ケース)
支援会議	11回 (実7ケース)
情報共有会議	3回 (実3ケース) ※うち主催0回

(7) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（重層的支援体制整備事業）(37,901,530円) ※佐賀市委託  
市内32校区を北部、中部、南部の3つのエリアに分け、各係長を中心に16人の地域担当(CSW)  
によるアウトリーチと伴走型の個別支援を実施した。エリア毎に常に情報の共有に努め、地域での会議  
や行事などにも積極的に参画した。また、関係機関や地域住民等と協力しながら地域課題の早期発見や  
解決に努めた。

<個別支援>

◆支援件数

	延べ支援件数	新規相談
R7年度	2,550件	158件
R6年度	2,636件	196件

◆相談内容 (単位：件)

内容	件数	内容	件数
病気や健康、障がいのこと	61	住まいについて	42
収入・生活費のこと	64	家賃やローンの支払いのこと	23
税金や公共料金等の支払いのこと	29	債務について	22
仕事探し、就職について	37	仕事上の不安やトラブル	8
地域との関係について	15	家族との関係について	33
子育てについて	4	介護について	17
ひきこもり・不登校	16	DV・虐待	4
食べるものがない	18	その他	4

◆連携機関

地域	自治会、民生委員・児童委員、知人友人、近隣住民など
関係機関	佐賀市役所、地域包括支援センター、高齢者関係事業所、障がい者関係事業所、子ども関係事業所、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、医療機関、成年後見人、警察、フードバンク、居住支援法人、ハローワークなど

<地域支援>

◆延べ支援件数 3, 887件

(8) 参加支援事業（重層的支援体制整備事業）（10,308,824円）※佐賀市委託

地域での交流の場づくりから就労支援など、対象者のニーズや課題を把握し、支援計画を基に地域の社会資源を活用しながら継続的な支援を展開した。また、制度にないサービスが必要であれば、地域の特性を生かした新たな社会資源を地域住民と協働しながら創りだしていくなど、その人らしい生活を目指し、伴走型支援を行っていくことに努めた。

◆支援件数

	延べ支援件数	うち新規相談
R7年度	469件	0件
R6年度	549件	10件

◆連携機関

地域	自治会、民生委員・児童委員
関係機関	佐賀市役所、障がい者関係事業所、佐賀市生活自立支援センターなど

(9) 第2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）事業（45,000,000円）※佐賀市委託

地域包括ケアシステムの実現に向け、おおむね中学校圏域に1名、計15名の生活支援コーディネーターを置き、住民が抱える生活課題（ゴミ出し、外出、買い物など）を住民と協働して、解決に向けたしくみづくりを行った。

◆延べ支援件数 3, 614件

◆新たな仕組みづくり支援

第2層生活支援コーディネーターとして、地域住民が主体的に自らの校区（地区）に必要な新たなしくみづくりを進める際に、積極的に支援を行った。

高齢者サロン開設	4件	若楠3、西川副
コミュニティカフェ開設	6件	西与賀1、高木瀬1、鍋島1、東与賀2 久保田1
地域食堂	1件	新栄
こどもの居場所	1件	高木瀬
フリースペース	1件	高木瀬
校区社協設立準備会	1件	春日北
校区社協設立	1件	春日北
校区内のふくしを考える協議体	3件	本庄1、東与賀1、久保田1
生協による移動販売	9件	本庄5、春日1、川上3
安心カード	1件	西川副
計	28件	

(10) 地域福祉推進事業 (1,053,100円)

① 民生委員・児童委員活動 (531,030円)

民生委員児童委員協議会役員会及び会長会、毎月開催される地区民生委員児童委員協議会定例会、各種研修会などに参加し、住民の福祉の向上のため地域福祉活動の推進を日々行っている民生委員・児童委員の活動に対し支援・協力を行った。

② 児童遊園地整備助成 (466,630円)

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに助成金を交付した。

校 区	設置数(件)	助成額(円)	校 区	設置数(件)	助成額(円)
高木瀬	1	82,500	西川副	2	106,600
本庄	1	47,500			
久保泉	1	29,000			
蓮池	1	30,300			
開成	1	100,000			

③ 小災害罹災世帯に対する見舞 (40,000円)

・小災害罹災世帯に対する見舞

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金(円)
火 災	2件	2世帯	2人	40,000

④ 実習生の受け入れ (15,440円)

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	3名	24日	西九州大学、久留米大学、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	19名	1日	佐賀県医療センター好生館看護学院
介護等体験	19名	5日	佐賀大学
介護福祉士	3名	5日	西九州大学短期大学部

(参考) R6実績

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	2名	23～24日	西九州大学、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	27名	1日	佐賀県医療センター好生館看護学院
介護福祉士	17名	5日～10日	西九州大学、西九州大学短期大学部

(11) 地域福祉推進補助事業 (13,153,300円)

① 校区(地区)社会福祉協議会役員研修会 (320,815円)

県内外の先進地研修やエリア別研修会を実施し、先進的な活動を学び取り入れることで、校区(地区)社会福祉協議会の事業推進に活かすとともに活動の増進と意識の向上を図った。

期日：令和8年2月5日

視察先：社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

参加者：38名

内容：①地域の絆づくり推進事業

②ぽっかぽかサポート事業(住民参加型支え合い事業)

③民間企業との協働事業「地域の方たちを誰ひとり取り残さない仕組みづくり」など

◆エリア別研修会の開催

1) 北エリア (10 校区)

期日：令和7年7月29日

参加者：20名

内容：各校区の重点目標、グループワーク (自己紹介・意見交換の場)

2) 中エリア (11 校区)

期日：令和7年8月29日

参加者：19名

内容：「地域づくりと生きがいつくり～男性の出番づくり～」

講師：佐賀県地域づくりネットワーク協議会

地域づくりアドバイザー 多良 淳二氏

3) 南エリア (11 校区)

期日：令和7年8月29日

参加者：20名

内容：ロールプレイ

I もしあなたが、認知症の相談を受けたら

「このままひとりで自宅で暮らしたい」

II もしあなたが、ケアラー (介護者) を見かけたら

「寝不足と息苦しさで、頼る人がいない」

III もしあなたが、身寄りのない人から相談を受けたら

「将来への不安、亡くなるまで自宅で暮らしたい」

4) 合同研修会

期日：令和8年3月18日

参加者：59名

内容：「親しまれる広報を目指して」

講師：佐賀新聞社 井上 武氏、西浦 福紗氏

② 校区 (地区) 社会福祉協議会活動助成 (3,228,460 円)

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、地域福祉活動を行う基礎組織として設置されている市内32の校区 (地区) 社会福祉協議会に対して、事業を推進するため助成を行った。1校区あたり250,000円 (うち100,000円)。ただし、新設の春日北校区社会福祉協議会は、150,000円 (うち100,000円)

③ 校区 (地区) 社会福祉協議会会長会運営費助成 (174,000 円)

校区 (地区) 社会福祉協議会相互の連携と事業の協力調整を図るため、定期的に校区 (地区) 社会福祉協議会役員会及び会長会を開催するなど校区 (地区) 社会福祉協議会活動の増進と意識の向上を図るため助成を行った。

◆役員会及び会長会の開催 役員会5回、会長会5回

④ 「助け合い・支え合い」の地域づくり推進事業 (2,687,490 円)

地域住民の生活課題を把握し、支援が必要な人たちの暮らしの課題に気付き、その解決や支援に向けた取り組みに対して、市内32の校区 (地区) 社会福祉協議会に助成を行った。

⑤ 福祉協力員等設置推進支援事業 (3,468,847 円)

「地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり」の実現に向け、自治会単位や民生児童委員単位での福祉連絡会議の実施と未設置校区には福祉協力員の設置に向けた支援を行った。

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
福祉協力員数	2,583 名	2,559 名	2,664 名
地区数	23 校区	22 校区	24 校区

⑥ 福祉バスの運行 (2,923,688 円)

本会の事業及び団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。

運行件数：223 件

⑦ 生活応援事業（困窮者支援）(350,000 円)

物価高騰等の影響を受ける生活困窮世帯に対し、佐賀県及び佐賀市の補助金を活用し食料支援の強化を図り、緊急時における迅速な支援体制の整備を行った。

3 共同募金配分金事業 (21,385,637 円)

(1) 共同募金配分金事業 (15,272,343 円)

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として地域福祉推進事業やふれあいのまちづくり支援事業を行った。

[全事業]

事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
① 校区(地区)社会福祉協議会活動費助成	4,700,000	4,700,000
② 校区交流事業	2,041,385	2,041,385
③ ふれあいのまちづくり支援事業助成	3,828,070	3,828,070
④ 福祉の体験学習指導者派遣事業	678,860	678,860
⑤ 新たな居場所づくり(コミュニティカフェ)	817,873	689,849
⑥ 生活困窮者支援事業	334,717	224,717
⑦ ヤングケアラー支援事業	40,796	40,796
⑧ 新入生応援プロジェクト	595,342	595,342
⑨ 福祉団体活動助成	2,235,300	2,235,300
合計	15,272,343	15,034,319

※事業額と配分金充当額の差額は法人運営事業から繰り入れ

① 校区(地区)社協活動費助成 (4,700,000 円)

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内31の校区(地区)社会福祉協議会に対し、事業を推進するため助成を行った。1校区あたり250,000円(うち150,000円)

また、新規立ち上げとなった1校区についても50,000円の助成を開始した。

② 校区交流事業 (2,041,385 円)

校区(地区)社会福祉協議会等が行う、多世代を対象とした住民同士の交流やお互いさまの関係づくりの場を提供する事業、及び校区における見守り活動の気づきとなることを目的とした訪問活動事業に対し助成を行った。

校区 (地区)	実施団体	開催数		参加者数		助成額 (円)
		多世代 交流	訪問交流	対象者数	ボランティア	
勸興	勸興校区社協	2	-	195	93	69,000
循誘	循誘校区社協	2	-	162	43	77,000
日新	日新校区社協	3	-	190	127	81,000
赤松	赤松校区社協	1	-	170	40	78,000
神野	神野校区社協	3	-	170	46	107,000
西与賀	西与賀校区社協	1	-	118		54,000
嘉瀬	嘉瀬校区社協	2	-	222	43	45,000
巨勢	ボランティア巨勢	5	-	93	76	56,000
兵庫	兵庫校区社協	1	-	109	53	86,000
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	-	84	101	75,000
	高木瀬校区社協	1	-	254	39	50,000
北川副	北川副校区社協	1	-	270	52	102,000
本庄	本庄校区社協	1	-	50	165	86,000
鍋島	鍋島校区社協		1	265	22	43,050
	鍋島校区社協	2	-	127	55	42,950
金立	金立校区社協	1	-	52	6	38,000
久保泉	久保泉校区社協	1	-	30	12	35,000
蓮池	蓮池校区社協	1	-	13	15	24,000
新栄	新栄ボランティア	2	-	250	105	70,000
若楠	ボランティア若楠	1	-	69	25	50,000
	若楠校区社協	1	-	95	7	34,000
開成	開成ボランティアひまわり		1	175	30	30,000
	開成ボランティアひまわり	1	-	76	40	45,000
諸富	諸富地区民児協		1	439	23	81,000
春日	春日校区社協	2	-	392	108	79,000
川上	川上校区社協	2	-	134	21	47,000
松梅	松梅校区社協	1	-	42	27	18,000
富士	富士地区社協		1	160	25	34,000
三瀬	三瀬校区社協	1	-	52	22	19,000
南川副	南川副校区社協	1	-	24	24	47,000
西川副	西川副校区社協	1	-	24	21	49,000
中川副	中川副校区社協	2	-	218	40	32,000
大詫間	大詫間校区社協	1	-	100	15	21,000
東与賀	ハッピークラブ	1	-	52	9	25,000
	東与賀校区社協	1	-	53	11	36,000
久保田	久保田校区社協		1	250	18	35,000
	久保田校区社協	1	-	99	10	30,000
	合計	48	5	5,278	1,569	1,931,000

③ ふれあいのまちづくり支援事業 (3,828,070円)

住民主体の理念に基づき、地域が抱えているさまざまな地域生活課題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、活動を計画し、協力して解決を図ることができる体制づくりを促進した。

◆ハード事業（備品整備）

(1) 地域福祉活動の拠点（自治公民館等）における福祉活動を推進するための備品整備

校 区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
循誘	東田代南	椅子	34,800	27,000
日新	中折下	椅子	114,400	50,000
	八戸南	ホワイトボード	58,080	46,000
	精町	椅子	23,760	19,000
	多布施三丁目	ワイヤレスマイク	59,800	47,000
赤松	北水	エアコン	283,800	50,000
西与賀	厘外西	折りたたみ座椅子	62,000	49,000
	城西団地	折りたたみテーブル	55,911	44,000
巨勢	高尾宿	カーテン	44,910	35,000
	高尾団地	折りたたみ椅子	81,670	50,000
兵庫	東中野	エアコン	222,200	50,000
	北修理田	冷蔵庫	71,390	50,000
高木瀬	城北	机	81,400	50,000
	平尾	机	161,040	50,000
北川副	枝吉	温水便座	47,000	37,000
	増田	ホワイトボード	68,420	50,000
	阿高	エアコン	299,000	50,000
	山津	テーブル、椅子	87,670	50,000
	南佐賀	テーブル、椅子	73,000	50,000
本庄	西川内	掃除機	69,850	50,000
	八田	ワイヤレスマイク	55,800	44,000
	中島	掃除機	35,000	28,000
鍋島	増田	椅子	55,678	44,000
	江里桜	椅子	32,780	26,000
	鍋島五丁目	テーブル、椅子	32,310	25,000
金立	若宮原	掃除機	59,400	47,000
	久富	椅子	61,560	49,000
蓮池	小松	椅子、カーテン	94,100	50,000
若楠	城井樋	座椅子	59,800	47,000
開成	江頭	テレビ	138,588	50,000
諸富	諸富新村	冷蔵庫	160,000	50,000
	大堂津	椅子	59,700	47,000
	大津地区	エアコン	138,000	50,000
春日	国分北二区	カーテン	121,000	50,000
春日北	北原団地	エアコン	124,278	50,000
	春日	椅子、ストーブ	62,640	50,000
	出羽	座椅子	74,700	50,000
	北原二区	テーブル	72,600	50,000
川上	平田	掃除機	58,083	46,000
	立石	机	62,340	49,000
	小隈	椅子	9,977	7,000
松梅	屋形所	椅子	49,203	39,000

富士	杉山	エアコン	946,000	50,000
	貝野	座椅子	55,600	44,000
	菑木区	椅子	59,760	47,000
三瀬	第5区	椅子	139,600	50,000
南川副	南18区	ガスコンロ、椅子	38,900	31,000
西川副	西干拓	座椅子	39,900	31,000
中川副	和崎	掃除機	27,720	22,000
	中津	カーテン	42,790	34,000
大詫間	大詫間9区	椅子、手摺	64,578	50,000
東与賀	上町	椅子	197,340	50,000
	鍛冶屋	冷蔵庫	204,600	50,000
久保田	上新ヶ江	温水便座	60,900	48,000
	福富	椅子	60,420	48,000
	福所	椅子	76,890	50,000
合 計			5,632,636	2,457,000

(2) 地域の誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのための備品整備

申請団体	事業内容	事業総額(円)	配分額(円)
赤松校区社会福祉協議会	ポップコーン製造機器の整備	226,600	181,000
富士自治会長会	かんたんテントの整備	239,800	191,000
合 計		466,400	372,000

◆ソフト事業（事業費）

(3) 地域の誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのための事業

申請団体	事業内容	事業総額(円)	配分額(円)
北川副校区社会福祉協議会	トランシーバーの整備	147,950	118,000
久保田校区社会福祉協議会	防犯反射マグネットシート配布	343,200	240,000
川上校区社会福祉協議会	標語パネルの設置	241,824	193,000
諸富地区社会福祉協議会	妊婦体験・おむつ替え体験等	251,165	200,000
新栄校区社会福祉協議会	ビブス・ジャンパーの整備	103,840	83,000
本庄校区社会福祉協議会	安全マップの更新	140,800	112,000
合 計		1,228,779	946,000

④ 福祉体験学習指導者派遣事業（678,860円）

・福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等）に指導者（クローバーの会）を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数(回)	派遣先(合計 18件)		
アイマスク	39	【小学校】		
高齢者疑似体験	41	・春日	・勸興	・附属
車椅子体験	39	・北川副	・日新	・諸富北
合計	119	・神野	・開成	・三瀬
		・東与賀	・鍋島	・若楠
		・諸富南	・新栄	・循誘
				【中学校】
				・金泉
				・成章
				・松梅
				【企業・地域団体】
				・今年度、派遣なし

⑤ 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）（817,873円）

地域の繋がりを再構築していくために、誰もが集える居場所づくり（コミュニティカフェ）の推進を図った。また、コミュニティカフェ継続支援事業として、コミュニティカフェの継続、新規立ち上げに向けての研修会を開催した。

	R7年度	R6年度	R5年度
カフェ設置数	50カ所 (17校区)	43カ所 (16校区)	40カ所 (14校区)
(うち新規)	7カ所	11カ所	6カ所

⑥ 生活困窮者支援事業（334,717円）

個人・企業から寄せられた共同募金を財源として、生活にお困りの方に緊急的に活用できる食料や日用品の配布、アウトリーチ支援をするために実施した。本会で食料品及び日用品を購入した。

また、必要に応じフードバンク、生活自立支援センター、市生活福祉課、地域包括支援センター等とも連携しながら支援を行った。

	令和7年度	令和6年度
食料等支援件数	84世帯	40世帯
支援人数	91名	58名
支援人数（延べ）	121名	72名

⑦ ヤングケアラー支援事業（40,796円）

令和5年度より嘉瀬校区の地域住民と協働し、子どもたちの権利を守る取り組みとして、ヤングケアラーに関する意見交換会を2年間実施してきた。今年度は、その成果を共有する報告会を開催した。アンケートでは「今後の活動や地域での支援につなげたい」「地域で取り組んでいきたい」などの意見が寄せられ、支援に対する理解が深まったことが確認できた。

また、嘉瀬校区での情報共有会議の継続的な開催や、報告会を受けて地域での勉強会等への取り組みを支援した。

・報告会：テーマ「佐賀市社協と一緒に取り組む子どもへの理解について（ヤングケアラー等）」

日時 令和7年10月22日（水曜日） 9:30～11:30

会場 ほほえみ館 1F きらきら学習ルーム

内容 ①佐賀市におけるこどもたちを取り巻く現状

報告者：佐賀市子ども未来部 こども家庭課 主査 青柳 勝氏

②嘉瀬校区ヤングケアラー情報交換会での学び

報告者：嘉瀬地区民生委員児童委員協議会 会長 山下 一徹氏

③佐賀市社会福祉協議会が取り組む子どもへの支援（ヤングケアラー等）

報告者：佐賀市社会福祉協議会 事務局次長 池田 敦子

参加団体 校区（地区）社会福祉協議会・民生委員児童委員・地域で子どもたちと関わる方々など（参加者：52名）

⑧ 新入生応援プロジェクト（595,342円）

「生活困窮世帯の課題に対して金銭的側面から応援したい。」という思いから指定寄付と共同募金配分金を活用し、実施した。

中学校、高等学校、高等専修学校に進学予定の児童・生徒がいる世帯に対して、通学用の自転車を寄贈した。

申込件数	23 世帯
取下件数	1 世帯（要件に合致せず）
自転車提供数	22 台

⑨ 各福祉団体助成（2,235,300 円）

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

- ◆運営費助成（8 団体）…佐賀市遺族会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市老人クラブ連合会、佐賀市校区（地区）社会福祉協議会会長会
- ・障害児・者福祉活動費 佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会
- ・福祉育成援助活動費 佐賀市母子寡婦福祉連合会

◆事業助成

- 佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）
- 佐賀心理リハビリテーション月例訓練会（佐賀若楠ふたばの会）

(2) (歳末配分) 共同募金配分金事業 歳末助け合い配分事業（6,113,294 円）

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

① 年末年始地域福祉事業

各校区（地区）社会福祉協議会等が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	高齢者世帯ふれあいの集い、一人暮らし高齢者への年賀状配布 等	186,000
循 誘	世代間交流もうすぐ正月祭しめ縄作り 等	183,000
日 新	しめ縄づくり、ミニ門松づくり、世代間交流ライトファンタジー	293,000
赤 松	一人暮らし高齢者年賀状作成・配布、餅つき 等	301,000
神 野	一人暮らし高齢者料理教室、世代間交流しめ縄作り 等	313,000
西与賀	一人暮らし高齢者会食会	172,000
嘉 瀬	しめ縄指導者講習・訪問配布、餅つき、高齢者への年賀状配布 等	165,000
巨 勢	世代間交流グランドゴルフ大会、ミニ門松づくり	88,000
兵 庫	一人暮らし高齢者友愛・クリスマスプレゼント	180,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会、一人暮らし高齢者へクリスマスプレゼント 等	423,000
北川副	しめ縄づくり、健康マージャン教室、友愛年賀状事業	314,000
本 庄	世代間交流イルミネーション作り、しめ縄づくり	256,000
鍋 島	一人暮らし高齢者への年賀状配布、世代間交流スポーツ大会 等	267,000
金 立	一人暮らし高齢者ふれあいの集い	126,000
久保泉	世代間交流ほんげんぎょう、餅つき大会	64,000
蓮 池	蓮池こども冬まつり（松飾りづくり、ふれあい交流会食会）	56,000
新 栄	世代間交流クリスマスイルミネーション、年末交流餅つき大会 等	202,000
若 楠	ほんげんぎょう、新年交流会、餅つき 等	263,000
開 成	世代間交流ライトファンタジー、一人暮らし高齢者訪問・年賀状配布 等	200,000
諸 富	子育てひろば事業、子育て支援者講座、まち作り研修会	284,000
春 日	一人暮らし高齢者訪問交流事業	148,000
春日北	一人暮らし高齢者訪問安否確認事業	226,000

川 上	一人暮らし高齢者ふれあい交流会	142,000
松 梅	高齢者見守り訪問事業、松梅校区柿むき大会	30,000
富 士	高齢者安否確認・餅配布、お屠蘇づくり 等	149,000
三 瀬	世代間交流干し柿づくり、メッセージ、お屠蘇づくり 等	62,000
南川副	小学生と高齢者とのふれあい交流事業（しめ縄づくり）等	85,000
西川副	一人暮らし高齢者へのカレンダー作成・配布	140,000
中川副	年賀はがき交流事業、世代間交流事業	77,000
大詫間	世代間交流ふれあい餅つき交流会	31,000
東与賀	高齢者ふれあい会食交流会、世代間交流餅つき会、しめ縄づくり教室	203,000
久保田	絵手紙カレンダー作成・配布、世代間交流しめ縄づくり 等	216,000
	歳末助け合い配分事業事務費	268,294
合 計		6,113,294

#### 4 福祉サービス利用支援事業（53,157,339円）

##### ① 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（18,056,892円）※県社協委託

認知症、知的障がい、精神障がいにより判断能力が不十分な方が、安心した生活が送れるように、福祉サービスの利用や生活全般に関するさまざまな相談を受けるとともに、計画的な収支設計に基づき支援した。

##### ◆相談・問い合わせ、新規締結、解約件数（単位：件）

	令和7年度			令和6年度		
	相談等	新規契約	解約	相談等	新規契約	解約
認知症高齢者	1,379	1	7	1,990	7	8
知的障がい者	1,790	3	2	2,022	4	2
精神障がい者	3,225	11	3	3,364	6	8
その他	119	0	0	113	0	0
合 計	6,513	15	12	7,489	17	18

※相談等の件数には既存契約者の相談も含む。また、複数回の相談を受けているため延べ数での報告となっている。

##### ◆令和8年3月末現在の契約数（単位：件）

	令和7年度	令和6年度
	*（）内は生活保護受給者の件数	*（）内は生活保護受給者の件数
認知症高齢者	22（15）	28（16）
知的障がい者	42（13）	41（15）
精神障がい者	42（27）	34（27）
その他	0（0）	0（0）
合 計	106（55）	103（58）
上記契約者の 延支援件数	1,837	1,860

※実績件数については本所・北連絡所・南連絡所のすべてを含む

##### ◆生活支援員の研修会の開催

福祉サービス利用援助事業に従事する生活支援員の利用者理解を深め、支援の質向上を目的として研修交流会を実施した。事例検討やグループワークを通して、実際生活支援員の皆さんがどのようなことに気を付けながら支援をされているかという意見交換が出来た。

開催日時	内容
12月5日(金)	①あんしんサポート利用状況説明・生活支援員の役割 ②事例検討(グループにて意見交換) ③グループワーク(テーマ:実際に支援を行う中で気にかけていること)

② 法人後見事業(15,145,188円) ※独自事業

法人(成年)後見人等として、身上保護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援し、被後見人等の権利擁護並びに意思決定支援を重視し、関係機関と連携・調整を行いながら後見業務を実施した。

◆令和7年度における増減件数 (単位:件)

	令和7年度	令和6年度
新規受任	4	2
業務終了	4	3

◆令和8年3月末現在の受任件数 (単位:件)

	令和7年度 * ()内は市長申立の件数	令和6年度 * ()内は市長申立の件数
後見	15 (10)	15 (11)
保佐	11 (2)	11 (2)
補助	1 (0)	1 (0)
合計	27 (12)	27 (13)
上記のうち生活保護受給者の件数	9	9

◆行なった後見業務

<p><b>【身上保護(生活の支援)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な訪問</li> <li>・日常生活に係る料金、利用料の支払い</li> <li>・各福祉サービス、施設、病院等の利用契約</li> <li>・障害者手帳、自立支援医療更新手続き</li> <li>・福祉、医療関係機関との調整会議</li> <li>・住居に関する手続き</li> <li>・代理権付与の申立て 等</li> </ul>	<p><b>【財産管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭管理、その他重要書類等の管理</li> <li>・給付金申請</li> <li>・保険解約・更新</li> <li>・生活保護の申請</li> <li>・確定申告</li> <li>・不動産に関する手続き</li> <li>・相続に関する手続き</li> <li>・後見等終了後の親族、関係者への引継ぎ 等</li> </ul>
---	---

◆職員研修の実績

日時	内容
令和7年4月18日(金) 10:00~12:00	「新たな報酬算定の考え方と報告書式等の改定・統一について」 講師:佐賀家庭裁判所後見係 大野愛子主任書記官 ・令和7年4月より大幅に変更となった定期報告や報酬付与申立時に提出する書式の変更点や作成における注意点について ・報酬算定についての考え方について
令和7年8月29日(金) 10:00~11:30	「死後事務事例報告会」 講師:法人後見個別担当職員 これまで本会で受任し対応した死後事務について、担当者間で報告と情報共有を行った

- ③ 佐賀市成年後見制度利用促進事業（佐賀市成年後見センター）（19,723,160円）※佐賀市委託  
 佐賀市から委託を受け、成年後見制度への理解、また、制度利用が必要な方の早期発見につなげるために、相談支援、広報・啓発活動などを行った。併せて運営委員会の開催や、受任者推薦会議を開催し最も適している職種の推薦などを行い、成年後見制度の利用促進に向け協議を継続した。

◆相談者内訳

相談者内訳	件数
本人	21
同居家族	24
別居家族	94
民生委員	2
地域包括支援センター	30
行政	20
施設	18
病院	48
介護保険事業所	21
障害福祉サービス事業所	26
社協	10
地域・団体	9
知人	2
関連する事業等	4
その他	12
合計	341件

◆相談内容

相談内容	件数
本会の法人後見事業に関する利用方法に関すること	1
成年後見制度の一般的な内容のこと	128
申立てや受任に関すること	129
任意後見に関すること	11
財産管理に関すること	12
相続・遺言に関すること	13
不動産処分に関すること	2
市民後見人に関すること	0
成年後見制度等に関する研修会・勉強会に関すること	12
親族後見に関すること	2
後見人等支援に関すること	11
中核機関連業務に関すること	7
その他	13
合計	341件

◆地域における権利擁護に関する広報・啓発活動の実績

	令和7年度	令和6年度
開催数	24	23
参加人数	544人	531人

◆上記開催数の内訳

高齢者サロン・高齢者サークル6か所、公民館講座1か所、校区社協・まち協研修会2か所、民生委員児童委員協議会研修会5か所、福祉施設等研修会4か所、家族会3か所、遺言・成年後見制度講演会1か所、佐賀地区障がい者総合相談窓口研修会1か所、佐賀県行政書士会后見業務研修会1か所
--

◆佐賀市成年後見センター運営委員会の開催（計4回）

佐賀市成年後見センターの利用を促進する為に運営報告及び事業計画等を専門職のメンバーに諮り、その意見を求める運営委員会を年4回開催した。

メンバー	弁護士、司法書士、社会福祉士、公証役場、地域包括支援センター、障がい者支援センター（オブザーバー）、佐賀家庭裁判所、佐賀県
------	---

開催状況	協議内容
【第1回】令和7年5月23日（金） 9：30～11：00	①今後の受任者推薦会議の在り方について ②佐賀市成年後見センター令和6年度実績報告
【第2回】令和7年7月25日（金） 9：30～11：00	①今後の受任者推薦会議の在り方について ②権利擁護ネットワーク 専門部会開催について
【第3回】令和7年10月24日（金） 9：30～11：00	①権利擁護ネットワーク 専門部会の報告 ②権利擁護ネットワーク 全体会の開催について
【第4回】令和8年2月27日（金） 9：30～11：00	①権利擁護ネットワーク 全体会の報告 ②令和8年度事業計画（案）について

#### ◆受任者推薦会議の開催

受任者推薦会議については、毎月1回を目途に開催する事となっているが本年度より疑義が生じるケースのみとし、下記の通りの開催数となった。なお、対象者との面談に於いてどの職種が適当であると判断ができたものについては会議を経ることなく候補者推薦に至っている。会議に諮る必要があるものについては本人の意思確認を尊重し、各委員の方との意見交換を行い最も適している職種を推薦した。

開催数	件数	内訳
5回	11件	認知症高齢者：8件 知的障がい：1件 精神障がい：1件 その他：1件
メンバー	弁護士、司法書士、社会福祉士、公証役場、地域包括支援センター、障がい者支援センター	
受任先	佐賀県社会福祉士会、佐賀県行政書士会、佐賀市社会福祉協議会	

#### ◆地域連携ネットワーク構築の促進

地域連携ネットワーク構築における土台として権利擁護支援の充実が必要不可欠の為、まずはその一部である成年後見制度の担い手不足解消を目的とした専門職後見部会を開催した。また専門職を含む関係機関・団体との連携・協力を深めるために全体会を開催した。

開催状況	協議内容
令和7年9月30日 権利擁護支援ネットワーク 専門部会 「専門職後見部会」	①受任者・担い手の状況 ②佐賀県内における成年後見制度の利用促進に係る取り組みについて ③佐賀市成年後見センターからの現状報告 ④弁護士会、リーガルサポート、社会福祉士会、佐賀市社協の体制や現状 ⑤意見交換 【参加団体】 弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会、税理士会、社会保険労務士会、精神保健福祉士会、佐賀市社会福祉協議会（オブザーバー）、佐賀家庭裁判所、佐賀県
令和8年1月29日 権利擁護支援ネットワーク 全体会	①佐賀市成年後見センターのこれまでの取り組みと権利擁護ネットワーク構築の役割について ②佐賀市成年後見センター運営委員会から見た権利擁護ネットワークとその活用方法 ③課題、困り事、質問、感想等の意見交換

	【参加団体】 成年後見制度に関わりがある（関わる可能性がある） 専門職団体、医療福祉団体、金融機関、公的機関（佐賀家裁、公証 役場、警察、法務局、佐賀市役所関係課）等の 38 団体
--	--

④ 移送サービス事業（232,099 円）

既存の交通機関による移動が困難な身体障害者手帳を所有する身体障がい者、または、要支援 2 以上の高齢者で歩行補助具（杖、押し車等）が必要な方を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。（利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区）

(R7) 利用登録者：10 名 利用回数：延 22 回 運転ボランティア：6 名

(R6) 利用登録者：7 名 利用回数：延 21 回 運転ボランティア：6 名

5 生活福祉資金貸付事業（28,077,840 円）

① 生活福祉資金貸付事業（1,907,000 円）※県社協委託

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

◆相談等及び貸付件数

（単位：件）

	令和 7 年度		令和 6 年度	
	相談等件数	貸付件数	相談等件数	貸付件数
件数	596	17	414	19
内訳	総合支援資金	8	総合支援資金	5
	福祉資金	112	福祉資金	73
	不動産担保型	18	不動産担保型	8
	緊急小口資金	150	緊急小口資金	158
	教育支援資金	114	教育支援資金	70
	その他	194	その他	100

※貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供し連携を図った…佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当（CSW）、佐賀市役所（生活福祉課・こども家庭課）他

※相談件数については一人の相談者から複数回の相談を受けているため延べ数での報告となっている。

② フォローアップ支援事業（22,599,000 円）※県社協委託

今年度は本会単独でフォローアップ支援は行わず関係機関と定期的に共有会議を開催し、関係機関と協議・連携しながら支援を行った。支援対象者を状況把握ができた方、猶予者等に絞り込み訪問、SMS による積極的なアウトリーチ型のフォローアップ支援を実施した。

◆相談者数及び件数

	令和 7 年度	令和 6 年度
相談者数	203 名 (償還済 19 名、償還中 183 名、市外 1 名)	—
相談件数	701 件	449 件

※相談件数については一人の相談者から複数回の相談を受けているため延べ数での報告となっている。

◆コロナ特例貸付（フォローアップ支援）借受人等への支援に関する共有会議（計3回）

コロナ特例貸付の借受人に対する効果的なフォローアップ支援を実現するため、関係機関間での情報共有のあり方と具体的な連携体制の構築を目的として開催した。

メンバー	佐賀市生活福祉課、佐賀市生活自立支援センター、佐賀市家計見直し相談室 佐賀県社会福祉協議会、佐賀市社会福祉協議会
------	---

開催状況	協議内容
【第1回】 令和7年9月17日（水） 14:00～15:30	佐賀市社協貸付担当者だけでの支援には限界があり、関係機関からの協力を得るために特例貸付の概要、フォローアップ支援が直面している課題を共有し、今後の連携について合意を得た。
【第2回】 令和7年10月8日（水） 10:00～11:00	①県社協が管理する借受人データを基盤とした支援体制の再構築 ②個人情報情報を安全に共有するための具体的な方法について検討 ③個人データ共有において関係機関実施事項の確認
【第3回】 令和7年12月23日（火） 14:00～15:40	①支援方針を全方位的に状況把握する方式から、状況把握をした借受人に絞り込みを行う ②県社協より償還猶予制度（職権免除も含む）の理念について改めて説明

③ 福祉資金（小口）貸付事業（3,571,840円） ※独自事業

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

◆相談、貸付、償還件数及び金額

	令和7年度			令和6年度		
	相談	貸付	償還	相談	貸付	償還
件数	159	107	131	128	137	134
金額（円）	-	2,807,560	2,932,231	-	3,040,765	2,910,765

※1件の相談で複数の貸付を行うこともあるため、相談件数と貸付件数が同じではない。

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため償還回数が多くなることもある。

## II. 施設経営事業拠点区分（103,839,269円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている。また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための各種事業の推進に努めた。

① 平松老人福祉センター事業（24,756,426円）

平松老人福祉センター（いきがい館平松）※佐賀市補助事業

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	17,918	855	18,773	100.8
女	10,525	138	10,663	
合計	28,443	993	29,436	

◆佐賀市平松清風大学（開講日：毎週火曜日。ただし8月は休み）

長寿社会の中で、高齢者が積極的に学習に取り組むことで、生きがいを見つけ生活をより充実させることや、地域社会の活動に貢献できる人材を育成することを目的として実施した。

学生数	97名（1年生50名、2年生47名）
入学式	令和7年4月15日
講義	一般教養、郷土史、健康、園芸、校外学習、1・2年生交流授業、 企画学習（グループ討議、自主企画授業）
講義数	1年生37回、2年生36回
卒業式	令和8年3月10日
学生活動	「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会の開催、 ボランティア活動、卒業アルバムの制作、研修旅行の実施
クラブ活動	園芸、絵手紙、マージャン、歩こう会、バラ愛好会

② 巨勢老人福祉センター事業（21,948,539円）

巨勢老人福祉センター（いきがい館巨勢）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	8,509	247	8,756	
女	9,222	245	9,467	
合計	17,731	492	18,223	62.4

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日）

高齢者が様々な分野の学習に取り組むことにより、生きがいや暮らしの質を高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できる人材を育成することを目標に開設した。

学生数	40名（1年制）
入学式	令和7年4月17日
講義	一般教養、郷土史、園芸、健康づくり等
講義数	22回
修了式	令和8年3月5日

③ 開成老人福祉センター事業（19,021,216円）

開成老人福祉センター（いきがい館開成）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	3,800	47	3,847	
女	3,655	67	3,722	
合計	7,455	114	7,569	25.9

④ 大和老人福祉センター事業（20,061,701円）

大和老人福祉センター（いきがい館大和）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	2,018	238	2,256	
女	3,955	999	4,954	
合計	5,973	1,237	7,210	24.7

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第1・第3水曜日）

高齢者に開かれた身近な生涯学習の場として、教養や社会参加する資質を高め、自分らしくいきいきとした生活、地域貢献できる人材の育成を目的に高齢者教養講座を開講した。

学生数	30名（1年制）
開講式	令和7年4月16日
講義	一般教養、郷土史、園芸、健康づくり、屋外研修等
講義数	17回
修了式	令和8年3月11日

⑤ 金立いきいの家事業（18,051,387円）

金立いきいの家（いきがい館金立）※佐賀市委託

◆年間利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	1,963	354	2,317	
女	5,530	1,077	6,607	
合計	7,493	1,431	8,924	30.6

◆金立いきいの家文化講座（開講日：原則として第2・4金曜日）

講座の機会を設けることにより、受講者がより知識を深め、生きがいを見出し、地域社会に貢献できる高齢者を養成することを目的に開講した。

学生数	36名（1年制）
開講式	令和7年4月25日
講義	一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
講義数	17回
修了式	令和8年3月6日

### Ⅲ. 介護保険等事業拠点区分（22,671,086円）

#### 1 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション・口腔ケア・運動・趣味の活動等のサービスを提供したが、利用者の減少に伴う運営状況の悪化、また、民間デイサービス事業者の充実、今後の介護従事者の確保が困難であること等の理由により、令和7年度末をもって事業を廃止した。

① 開成デイサービスセンター事業（22,671,086円）

実施日数（日）	延利用者数（名）	1日平均（名）
214	2,560	12.0

### Ⅳ. 認可外保育施設運営拠点区分（23,169,851円）

#### 1 松梅保育所運営事業

① 松梅保育所運営事業（23,169,851円）※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、保育所保育指針に基づき、子どもの発達過程を踏まえた育ちを

支援することを柱とした事業を計画し、子どもの穏やかな成長を支えた。

開所日数(日)	利用者(名)	
	保育児	1日平均
253	2,378	9.4

○保育事業

○地域住民・児童生徒との交流事業

農業体験・夏祭り・作品展・校区体育祭・かかし祭り展示・こどもフリーマーケット・防災活動

## V. その他の事業

### 1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

#### ① 赤い羽根共同募金

「たすけあい つながるやさしさ 赤い羽根」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

種別	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
佐賀市支会	14,061,871	3,932,925	196,239	119,248	1,123,717	213,533	19,647,533
県共募扱	0	0	0	13,118	0	81,778	94,896
合計	14,061,871	3,932,925	196,239	132,366	1,123,717	295,311	19,742,429

#### ② 歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

種別	戸別募金	その他	合計
佐賀市支会	5,922,040	233,974	6,156,014
県共募扱	0	905	905
合計	5,922,040	234,879	6,156,919

### 2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため会員募集に努めた。

会費実績：18,020,234円

① 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

○講習への講師(指導員)派遣調整 ※県支部より派遣

救急法：1ヶ所

② 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

助成金交付：1件

③ 災害義援金（救援金）の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

○ウクライナ人道危機救援金	64,910円
○令和6年能登半島地震災害義援金	180,170円
○令和6年9月能登半島大雨災害義援金	113,220円
○令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	6,281円
○2025年ミャンマー地震救援金	32,579円
○令和7年8月からの大雨災害義援金	77,834円
○令和7年大分市佐賀関の大規模火災義援金	161,807円
○令和7年トカラ列島近海地震災害義援金	1,259円
○令和7年台風22号・23号災害義援金	30,000円
○令和7年青森県東方沖地震義援金	30,000円

④ 火事等の罹災世帯への援助

市民で住宅火災により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

世帯数（人数）	緊急セット	毛布	バスタオル	見舞金(円)
2世帯（2人）	2	2	2	20,000

⑤ 全国赤十字大会への参加

東京都において開催された全国赤十字大会に参加した。佐賀市地区職員2名